

視 察 報 告 書

報告者氏名 うた桜子

1 会派名

流山みらい

2 期 日

令和 7 年 8 月 8 日 (金)

3 参加者

うた桜子

※楠山栄子、森田洋一、清水大議員も同行

4 視察地及び調査事項

神奈川県横須賀市

「わたしの終活支援登録」および「エンディングプラン・サポート事業」について

5 所感等

神奈川県横須賀市：

横須賀市の「わたしの終活支援登録」と「エンディングプラン・サポート事業」を視察し、北見万幸専門官より講義を受けました。終活ノートを書いても登録していなければ死後に本人の希望が反映されないという課題に対し、市は生前の情報登録制度を整え、万一の際にも意思を尊重できる仕組みを築いており、その努力に感心しました。また、独居高齢者の増加や引き取り手のない遺骨の存在といった現実を背景に、葬儀・納骨などを包括的に支援する取り組みには、行政が生活の最終段階まで伴走する姿勢を感じました。北見万幸専門官は、特に「墓地埋葬法第9条」によって死亡地の自治体が火葬を担うという制度の矛盾を強く訴えられて

おられました。例えば逗子市民が横須賀市内の病院で亡くなった場合、住民でないのに横須賀市が火葬を担う必要があるという現場の負担は深刻であり、制度改正の必要性を感じました。今回学んだ先進的な取り組みは、流山市においても大いに参考になると感じています。